

今回は春日居町の別田地区を紹介
します。

別田の地名は国道140号線柳橋
信号周辺(別田三叉路)で青梅街
道と雁坂口ノ間道(秩父街道の一部)
が別れた事に由来するとい説があ
ります。青梅街道は別田から正徳
寺(山梨市)・上神内川(山梨市)・
小原(山梨市)・上於曾(甲州市塩
山)・上萩原(甲州市塩山)等を通
り大菩薩峠を越えて青梅(東京都青
梅市)までつながります。雁坂口ノ
間道は別田から落合(山梨市)・万
力(山梨市)・八幡(山梨市)・窪平
(山梨市牧丘)・川浦(山梨市三富)
等を通り雁坂峠を越えて秩父(埼玉
県秩父市)までつながります。

別田地区には街道の分岐点があつ
たことを伝える石造物が2つありま
す。別田三叉路の一角には柳の木と
三界万霊供養塔さんがいばんれいこうたうが建てられています。
供養塔には『右はきはら道 左やは
た道』と刻まれています。『きはは
ら道』は青梅街道の別名で、『やは
た道』は雁坂口ノ間道の別名です。
この供養塔は別田柳橋周辺のシンボ
ルの存在であり、昭和8(1933)
年6月5日に撮影された『第二回満
州武装移民記念写真』にも柳の木と

笛吹市探訪 シリーズ 第20回 春日居町 別田地区



別田三叉路柳橋前・昭和8年



別田郵便局特設電話開通式



春日居町駅現状



別田駅開業(S29.12.1)

供養塔が写っています。

また保泉寺(別田4番地)には別
田三叉路より移設された道標があり
ます。道標の中央には『観世音』と
刻まれ、右側には『右はきはら道』
と左側には『左やはた道』と刻ま
れています。雁坂口ノ間道を通り甲
州から秩父へ行く人が多くいたので
しょう。秩父には秩父三十四ヶ所観
音霊場の寺院があります。

さらに別田地区には中央本線春日
居町駅や春日居郵便局があります。
中央本線は明治36(1903)年に
甲府八王子間が開通しました。昭和
29(1954)年には別田駅が設置
され、駅舎も建てられました。昭和
40年代に別田駅は無人になり、平成
5(1993)年に駅名は『春日居



三界万霊供養塔



保泉寺道標

町駅』に変わりました。平成15(2
003)年より駅周辺整備事業が進
められ足湯・ロータリー・公園等が
造られました。

春日居郵便局は明治37年(190
4)年に芦澤多左衛門宅に別田郵便
取扱所を設置したのが始まりです。
翌年に『別田郵便局』と名前を変え、
大正15(1926)年より電話交換
業務を始めました。平成13年に『春
日居郵便局』と名前を変えました。
局内にはミニギャラリーがあり、菊
や絵画の展示会等を行っています。
春日居町駅を出発して別田地内を
歩いてみたらいかがですか。新しい
発見があるかもしれません。歩いた
後は駅前の足湯で疲れを癒してくだ
さい。